

2025 年 4 月 30 日

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 合格体験記

受検番号:02F2120023	氏名 T.K	在住 栃木県
-----------------	--------	--------

■ 受検のきっかけ

仕事としてキャリア支援を行うようになり、専門的知識が無いことに不安を抱き、資格取得を目指しました。まず民間資格を取得しました。さらに、業務に深く関わることや、専門性を高めるために、2 級技能検定にチャレンジしましたが、独学で安易に取り組んだ結果、2 級取得に 3 年を要し、合格時は不完全燃焼でした。そのため、挑戦への熱が冷めやらぬうちにという思いで、1 級技能士資格取得を目指すことにしました。1 級技能士の知識の広さ、深さ、業務範囲にワクワクした事を覚えています。しかし、現実は甘くなく、1 級の初回受検から 9 年目でやっとの合格となりました。合格できた今、その喜びは勿論ですが、目的のために挑戦し、いかに結果を出せるかを試した達成感の方が大きいように感じます。

■ 学科試験対策

1 級学科試験は、9 年間で 4 回しました。受検の 1 回目(第 6 回)、2 回目(第 9 回)、特に 3 回目(第 13 回)は実技一部合格後の受検で、ゴール目前でしたが、68 点で不合格でした。過去 2 回の学科合格に油断し勉強不足でした。2 級検定受検時の学科試験 68 点トラウマを思い出し落胆しました。そして、4 回目(第 14 回)の受検でようやく合格できました。

学科の勉強には、2 級受検から「1 級技能士の会」の書籍をベースに勉強しました。

キャリアの青本Ⅲ、さらにⅣ、青本Ⅳプラス(時事・統計データ編)、キャリアの赤本、1 級キャリアの赤本を使用。特に、青本は、試験範囲を網羅しているうえ、出題傾向から山掛け(良く言えば、勉強の密度調整)ができました。青本Ⅳでは科目・範囲毎に確認問題が有り、赤本と合わせ知識のインプット・アウトプットの整理に効果的でした。また、青本プラスは毎年変わる広範囲の社会情勢、法令の勉強に役立ちました。

■ 論述試験対策

論述試験の1回目(第 6 回)は、必須問題と選択問題の違いが把握できず最悪の結果でした。しかし、2回目(第 7 回)以降は全て到達となり、特に 3 回目(第 8 回)受検から「1 級技能士の会」の 1 級実技試験合格バイブルに沿って、過去問を何度も練習しました。試験の正答が無く、暗中模索状態でしたが、バイブルの解答の要素や解答例が、論述勉強の道筋を示してくれました。

■ 面接試験対策

面接試験は、第12回でやっと到達しました。最初の学科試験一部合格期限切れで、2回目学科試験を受験の前に、「1級技能士の会」の2日間集中の1級対策夏季講座を受講しました。

そこで、面接について具体的な時間配分に沿って、設問を意識した進め方を学び、ロープレでは、自身の問題点、改善点をアドバイス頂きました。しかし、本試験では、支離滅裂な状態になってしまいました。

講座受講後の試験は、夏季講座のアドバイスを頼りに1人でイメージ作りのみでしたが、私にとっては面接試験が、合格のためのロープレのようなものでした(なんと勿体ない)。

面接試験こそ、ロープレやスーパービジョンによる反復練習で構造的な面談スタイルをしっかり習得することが重要と実感しました。

■ 今回の面接試験を振り返って

第12回は実技試験のみ受検しました。2回目の学科試験一部合格期限が切れてしまったため、半ば諦め気分で、受検しました。運よく面接試験に合格したら、次に学科試験を受験しようと気楽に考えて、実技試験を受検しました。

夏季講座の資料と、悔しかった第11回試験後の反省点の記録(1年間後には、良いも悪いも忘れてしまうと思い)を振り返りながら、イメージトレーニングを強化しました。

過去の試験で曖昧だった、指導者としての問題把握を具体的に事例相談者へ伝えることができず、気づいてもらうことを意識しました。しかし、そこで時間切れとなり、方策の実行まで進めず半ば諦めました。

過去の口頭試問は、緊張で支離滅裂でしたが、今回もやっぱりダメかと、逆に、開き直ったことから肩の力が抜け冷静になれた気がします。口頭試問では、事例相談者の同意を得られなかったこととその原因、今後の方策を提案できなかったが、具体的にどうしたかったかを伝えることができました。

自身で振り返ると、全体的には不十分な点が多く結果は不合格と思っていました。しかし、合格できたのは、ダメ元で臨みましたが、開き直ったことで、かえって終始冷静に取り組めたことが合格の要因だったと思います。

■ 受検される皆様へのエール

1級技能士試験は、私にとって難関でした。時間と費用を惜しみほぼ独学でしたが、結果、時間も費用も受験対策講座受講の何倍も費やしてしまいました。これから受検される方たちへのメッセージとして、合格するにはプロの教えを乞い、モチベーションを保つために仲間と共に頑張ることや、正しい知識を身につけるため受験対策講座を利用されるのが得策かと思います。

そして、私の場合受検に向けた、モチベーション維持も大変なストレスでした。1級技能検定学科

試験と論述試験の本試験は 12 月です。そのため、試験勉強が本格化する 10 月、11 月は秋の行楽シーズンと重なってしまいます。旅行やイベントに出かけたい気持ちを抑え、勉強に集中することになります。どうぞ「合格したら〇〇できる」をご褒美に掲げ、諦めず挑戦して下さい。

そして、私の合格後は、更に自己研鑽を積み、キャリアコンサルタントの普及活動や、後進の育成指導を行いたいと思います。私の地元栃木県は、1 級技能士資格取得を目指す仲間が少なく、受検勉強の情報を得ることが困難でした。栃木県でキャリアコンサルタント技能士検定の受検対策講座を開催することで、地元のキャリアコンサルタント技能士の普及と育成に貢献したいと思います。

以上